

外交史料館ニュース

一、外交記録公開

「公文書の管理に関する法律」及び「外交記録公開に関する規則」(平成二八年外務省訓令第一六号)等に基づき、平成二九年内に以下のとおり外交記録を外交史料館に移管し、目録に掲載した(対象ファイルの概要は外交史料館ホームページにてご覧いただけます)。

- ① 一月二日 二四冊※
- ② 一月三十一日 四三〇冊
- ③ 三月三十一日 二六一冊
- ④ 五月三十一日 一七一冊
- ⑤ 七月三十一日 一八七冊
- ⑥ 九月二十九日 一八八冊
- ⑦ 十一月三〇日 一八五冊
- ⑧ 十二月二〇日 二五冊※

※は特別審査済みファイルであり、即時閲覧可能な状態で公開された。

その中には一九八三年一月の中曽根総理による米国訪問や、一九八六年五月のチャールズ英国皇太子の訪日などが含まれる。また、十二月二〇日公開分については全文書の画像が外務省ホームページに掲載された。

二、所蔵記録のマイクロフィルム化及びデジタル化の実施

戦後七〇年を契機として内閣総理大臣の下に設置された「二〇世紀を振り返り二一世紀の秩序と日本の役割を構想するための有識者懇談会」報告書において我が国が取るべき具体的施策として「アジア歴史資料センターの充実」が指摘されたことを受け、平成二八年度から、同センターへの史料画像提供及び所蔵記録の保存などを目的として、戦後外交記録のマイクロフィルム化及びデジタル化の作業に順次着手している。二八年度においては、戦後外交記録A門のうち、第一回〜第二回外交記録公開で公開されたファイルを中心に、一〇二冊を提供した。これらは全て、二九年八月から同センターのホームページ上で閲覧が開始されている。

同センターへの協力については、『外交史料館報』本号記事「アジア歴史資料センターへの協力の経緯と現状」も参照ありたい。

三、展示

平成二九年三月一五日から同月三一日まで、内閣官房・外務省共催で「尖閣諸島と竹島の史料に関する企画展示」を開催した。

また、五月一日から七月一四日まで、企画展示「国書・親書展〜南北アメリカ編①〜」を開催した。

さらに、七月二四日から一月三〇日まで、特別展示「日本とタイー国交樹立一三〇年」を開催した。本展示は、平成二九年が日本とタイの国交樹立一三〇周年にあたることを記念して開催したもので、期間中、ドーン・ボラマットウイナイ・タイ王国外務大臣とバンサーン・ブンナーク駐日タイ王国大使が来館し、展示を見学された。詳細は本号の特別展示解説記事

を参照いただきたい。

一〇月七日から一月五日の期間には、国立公文書館において、国立公文書館・デンマーク国立公文書館主催、当館共催で展示会「日本とデンマーク―文書でたどる交流の歴史」が開催された。本展示会は、平成二九年が日本とデンマークの国交樹立一五〇周年にあたることを記念して開催されたもので、両国の交流の歴史を貴重な資料で振り返るものである。当館からは「日本・デンマーク通商航海条約」批准書(明治二八年調印、同二九年批准書交換)等を出展した。

平成三〇年一月一日からは、平成三〇年が明治元年から起算して満一五〇年に当たることから、明治一五〇年記念展示「国書・親書にみる明治の日本外交」を開催している(四月一七日迄を予定)。

明治150年記念展示
国書・親書にみる
明治の日本外交

主催: 外務省外交史料館
開催期間: 平成30年1月11日(木)～4月17日(火)
開館時間: 10時～17時30分(土日・祝日を除く)
会場: 外務省外交史料館別館展示室
(東京都港区麻布台1-5-3) TEL: 03-3585-4511(代表)

ナポレオン世、セオドア・ルーズベルト大統領、宣統帝(清帝)の国書・親書等166名展示

入場無料